



Cisco APIC-EM サービスのモニタリング

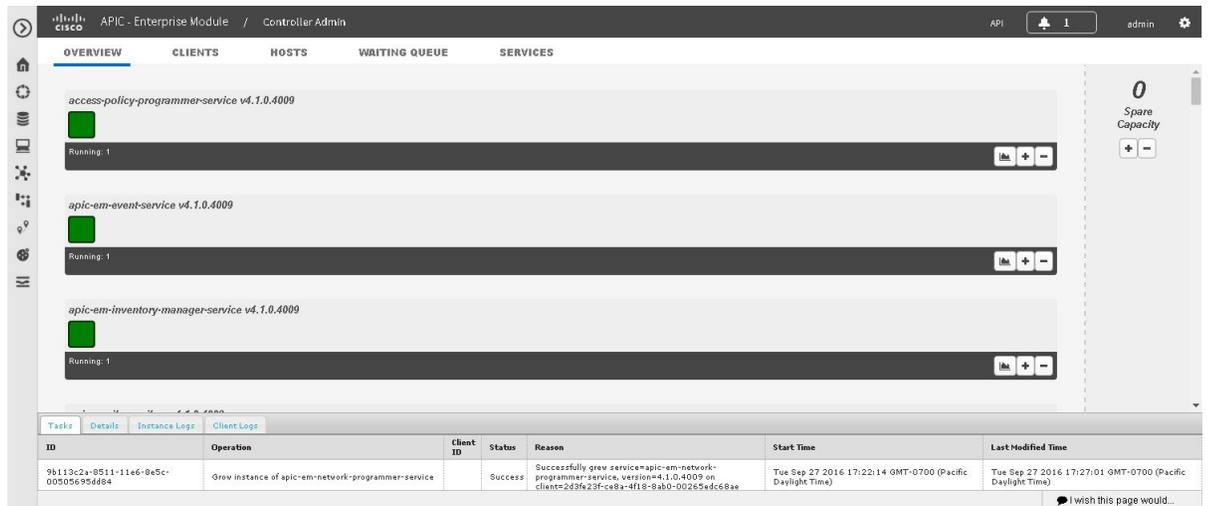
- [\[Controller Admin\] コンソール, 1 ページ](#)
- [サービスのバージョン、ステータス、ログの確認, 3 ページ](#)
- [サービス インスタンスの削除, 4 ページ](#)
- [サービス インスタンスの作成, 6 ページ](#)
- [ホスト データの確認, 8 ページ](#)

[Controller Admin] コンソール

Cisco APIC-EMは、お使いのネットワークにサービスとしてのプラットフォーム（PaaS）環境を作成します。このPaaS環境のサービスは、ネットワーク内のクライアントに負荷の増加が発生するとインスタンスを追加する、水平拡張性の高いアプリケーションです。これらのサービスの管理およびトラブルシューティングには、[Controller Admin]コンソールを使用します。[Controller Admin]

コンソールとそのツールは導入ファイルにバンドルされており、Cisco APIC-EM の初回導入時にインストールされます。

図 1 : [Controller Admin] コンソール



(注) マルチホストクラスタの場合、[Controller Admin]コンソールを表示するためにそれぞれのホストにログインする必要はありません。マルチホストクラスタでは、3つのホストすべてで実行されているすべてのサービスを1つの統合ビューに表示できます。

[Controller Admin]コンソールには、コントローラのGUIから直接アクセスできます。このコンソールにアクセスするには、コントローラのGUIの上部にあるメニューバーで[Settings]（歯車）アイコンをクリックし、ドロップダウンメニューの[System Administration]リンクをクリックします。

[Controller Admin]コンソールでは、次のウィンドウと機能を使用できます。

- [Overview] : バージョンとステータスに関する情報を含むサービスのリストが表示されます。このウィンドウでサービスを追加または削除できます。
- [Clients] : このウィンドウにクライアントの詳細情報が表示されます。
- [Hosts] : このウィンドウにホストの詳細情報が表示されます。
- [WaitingQueue] : 待機キューの情報が表示されます。
- [Services] : サービスの詳細情報が表示されます。このウィンドウでサービスを追加または削除できます。
- [Logs] : タスク、インスタンス、およびクライアントログの詳細が表示されます。

サービスのバージョン、ステータス、ログの確認

[Controller Admin]コンソールを使用して次のタスクを実行できます。

- 各サービスのステータスを確認する。
- 各サービスのバージョンを確認する。
- 各サービスのログを確認する。



注意

アドバンス ユーザのみが [Controller Admin]コンソールにアクセスして、この手順で説明されている作業や、サービスのトラブルシューティングを実行するようにしてください。

図 2 : [Controller Admin] コンソール

The screenshot shows the Cisco APIC-EM Controller Admin interface. The top navigation bar includes 'OVERVIEW', 'CLIENTS', 'HOSTS', 'WAITING QUEUE', and 'SERVICES'. The main content area displays three services, each with a green status indicator and 'Running: 1' instances:

- access-policy-programmer-service v4.1.0.4009
- apic-em-event-service v4.1.0.4009
- apic-em-inventory-manager-service v4.1.0.4009

At the bottom, there is a table with columns: ID, Operation, Client ID, Status, Reason, Start Time, and Last Modified Time.

ID	Operation	Client ID	Status	Reason	Start Time	Last Modified Time
9b119c2a-0511-11e6-0a5c-005056954484	Grow instance of apic-em-network-programmer-service		Success	Successfully grew service=apic-em-network-programmer-service, version=4.1.0.4009 on client=209a23fca9-a410-9ab0-00205e4dc8ae	Tue Sep 27 2016 17:22:14 GMT-0700 (Pacific Daylight Time)	Tue Sep 27 2016 17:27:01 GMT-0700 (Pacific Daylight Time)

はじめる前に

Cisco APIC-EMが正常にインストールされ、動作している必要があります。

管理者 (ROLE_ADMIN) 権限、およびすべてのリソースへのアクセス権 (RBAC スコープを [ALL] に設定) またはグループ化するすべてのリソースを含む RBAC スコープが必要です。たとえば、特定のリソースセットを含むグループを作成するには、これらのリソースへのアクセス権が必要です (グループ化するすべてのリソースをカスタム RBAC スコープとして設定)。

- ステップ 1** [Home]ウィンドウで、画面右上の [admin] または [Settings] アイコン (歯車) をクリックします。
- ステップ 2** ドロップダウンメニューの [System Administration] リンクをクリックします。
- ステップ 3** コンソールの [Overview]ウィンドウにリストされている各サービスのステータスを確認します。

各サービスは正方形で表されます。緑色の正方形はアクティブなサービスインスタンスを表し、赤色の正方形は障害のあるインスタンスまたは処理に失敗したインスタンスを持つサービスを表しています。色が無い正方形は、非アクティブサービス（開始されたインスタンスも実行中のインスタンスもない）を表しています。

マルチホスト環境では、サービスが2つの緑色の正方形で表されることがあります。これは、そのサービスがクラスタ内の2つのホスト上で実行されていることを示します。各正方形の上にカーソルを合わせると、そのサービスが実行されているホスト（IP アドレス）が表示されます。

ステップ 4 コンソールの [Overview] ウィンドウで各サービスのバージョンを確認します。バージョンは、リストされている各サービスのヘッダーにあります。

ステップ 5 特定のアクティブなサービスインスタンス（緑色の正方形アイコン）をクリックし、ウィンドウの下部にあるインスタンス ログまたはクライアント ログを参照することにより、サービス ログを確認します。[Instance]には、サービスのインスタンスに関する詳細情報がログ記録されます。[Client]には、サービスが存在するクライアントに関する詳細情報がログ記録されます。

ステップ 6 [Tasks] タブでログを確認します。サービス タスクに関する次の情報が表示されます。

[ID]	タスク ID 番号
[Operation]	タスクのタイプ（サービスの生成など）
[Client ID]	クライアント ID 番号
[Status]	タスクのステータス（[Success]や [Failed] など）
[Reason]	成功または失敗したタスクに対して示された理由
[Start Time]	タスクの開始時刻
[Last Modified Time]	サービスの最終変更時刻

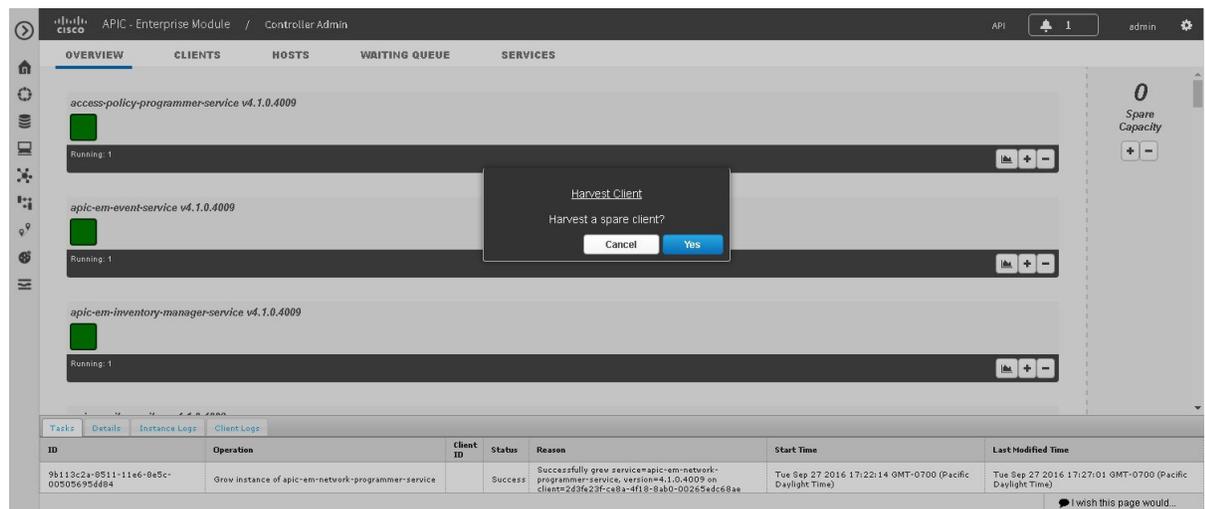
サービス インスタンスの削除

[Controller Admin] コンソールを使用して、サービス インスタンスを削除または収集できます。
[Controller Admin] コンソールツールは ISO イメージ内にバンドルされており、最初に Cisco APIC-EM を導入する際にインストールされます。

**注意**

アドバンス ユーザのみが [Controller Admin] コンソールにアクセスして、この手順で説明されている作業や、サービスのトラブルシューティングを実行するようにしてください。

図 3: サービス インスタンスの削除 (収集)



はじめる前に

Cisco APIC-EMが正常にインストールされ、動作している必要があります。

管理者 (ROLE_ADMIN) 権限、およびすべてのリソースへのアクセス権 (RBAC スコープを [ALL] に設定) またはグループ化するすべてのリソースを含む RBAC スコープが必要です。たとえば、特定のリソースセットを含むグループを作成するには、これらのリソースへのアクセス権が必要です (グループ化するすべてのリソースをカスタム RBAC スコープとして設定)。

ステップ 1 [Home] ウィンドウで、画面右上の [admin] または [Settings] アイコン (歯車) をクリックします。

ステップ 2 ドロップダウン メニューの [System Administration] リンクをクリックします。

ステップ 3 コンソールの [Overview] ウィンドウで動作しているサービスのリストを確認します。

各サービスは正方形で表されます。緑色の正方形はアクティブなサービスインスタンスを表し、赤色の正方形は障害のあるインスタンスまたは処理に失敗したインスタンスを持つサービスを表しています。色がなく正方形は、非アクティブサービス (開始されたインスタンスも実行中のインスタンスもない) を表しています。

正方形の上にカーソルを合わせると、そのサービスが実行されているクライアントの IP アドレスが表示されます。

マルチホスト環境では、サービスが2つの緑色の正方形で表されることがあります。これは、そのサービスがクラスタ内の2つのホスト上で実行されていることを示します。各正方形の上にカーソルを合わせると、そのサービスが実行されているホストが表示されます。

(注) コンソールウィンドウの右側には、どのサービスインスタンスも実行していないスペアクライアントがあります。

- ステップ 4** サービスのインスタンスを削除（収集）するサービスを探し、右下にある削除記号 (-) をクリックします。
インスタンスを収集するアクションを確認するように求められます。
- ステップ 5** ダイアログボックスで [Yes] を選択して、サービスのインスタンスを収集することを確認します。
コントローラによってサービスのインスタンスがスピンダウンされます。
プロセスが終了したら、サービス インスタンスを表す正方形が削除されます。

次の作業

追加インスタンスの生成またはサービスからのインスタンスの削除（収集）によってサービスを管理します。[Controller Admin] コンソールでの作業が完了したら、[Navigation] ペインの別のアイコンをクリックしてコンソールを終了します。

サービス インスタンスの作成

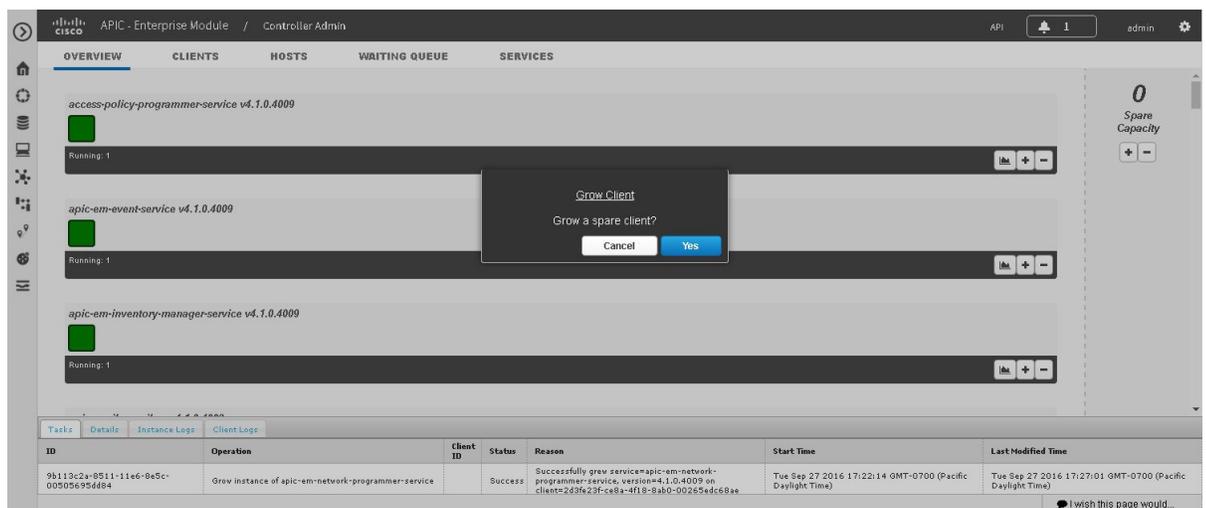
[Controller Admin] コンソールを使用してサービス インスタンスを作成することができます。



注意

アドバンス ユーザのみが [Controller Admin] コンソールにアクセスして、この手順で説明されている作業や、サービスのトラブルシューティングを実行するようにしてください。

図 4: サービス インスタンスの作成（生成）



はじめる前に

Cisco APIC-EMが正常にインストールされ、動作している必要があります。

管理者 (ROLE_ADMIN) 権限、およびすべてのリソースへのアクセス権 (RBAC スコープを [ALL] に設定) またはグループ化するすべてのリソースを含む RBAC スコープが必要です。たとえば、特定のリソースセットを含むグループを作成するには、これらのリソースへのアクセス権が必要です (グループ化するすべてのリソースをカスタム RBAC スコープとして設定)。

ステップ 1 [Home] ウィンドウで、画面右上の [admin] または [Settings] アイコン (歯車) をクリックします。

ステップ 2 ドロップダウン メニューの [System Administration] リンクをクリックします。

ステップ 3 [Controller Admin] コンソールの [Overview] ウィンドウで、動作しているサービスのリストを確認します。各サービスは正方形で表されます。緑色の正方形はアクティブなサービスインスタンスを表し、赤色の正方形は障害のあるインスタンスまたは処理に失敗したインスタンスを持つサービスを表しています。色がでない正方形は、非アクティブサービス (開始されたインスタンスも実行中のインスタンスもない) を表しています。

正方形の上にカーソルを合わせると、そのサービスが実行されているクライアントの IP アドレスが表示されます。

マルチホスト環境では、サービスが2つの緑色の正方形で表されることがあります。これは、そのサービスがクラスタ内の2つのホスト上で実行されていることを示します。各正方形の上にカーソルを合わせると、そのサービスが実行されているホストが表示されます。

(注) コンソールウィンドウの右側には、どのサービスインスタンスも実行していないスペアクライアントがあります。

ステップ 4 サービスのインスタンスを手動で生成するサービスを探し、右下にある追加記号 (+) をクリックします。インスタンスを生成するアクションを確認するように求められます。

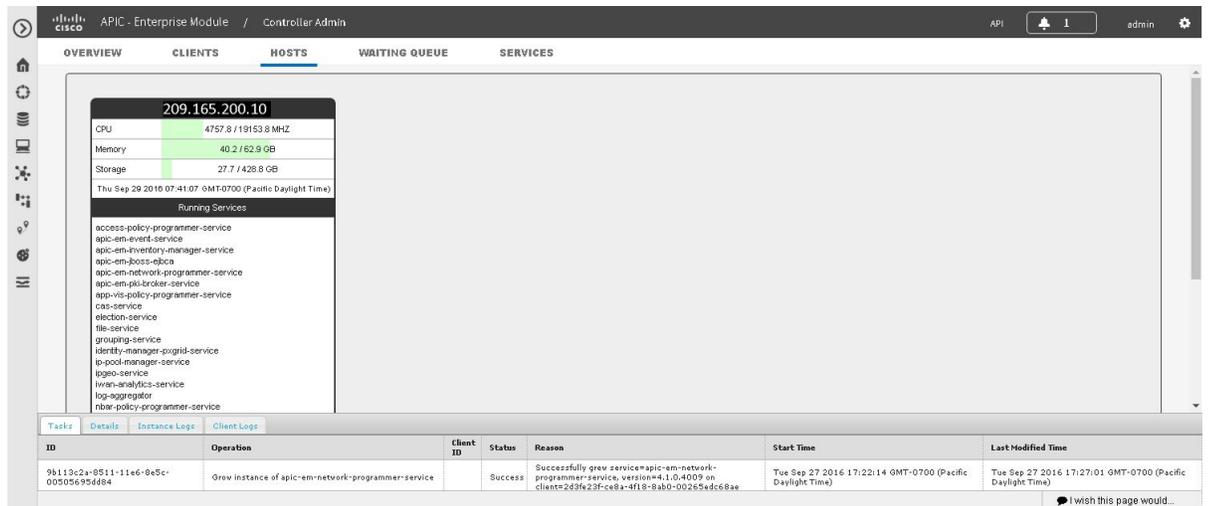
ステップ 5 ダイアログボックスで [Yes] を選択して、サービスのインスタンスを生成することを確認します。コントローラは [Spare Capacity Pool] からクライアントを選択し、サービスのインスタンスをスピンアップします。

プロセスが終了したら、新しいサービス インスタンスを表す正方形が緑色に変わります。

ホストデータの確認

[Controller Admin] コンソールを使用して、サービスが実行されている単一または複数（マルチホスト クラスタ内）のホストに関するデータを確認できます。

図 5: [Controller Admin] コンソールに表示されたホストデータ



はじめる前に

Cisco APIC-EMが正常に導入され、動作している必要があります。

管理者（ROLE_ADMIN）権限、およびすべてのリソースへのアクセス権（RBACスコープを[ALL]に設定）またはグループ化するすべてのリソースを含む RBAC スコープが必要です。たとえば、特定のリソースセットを含むグループを作成するには、これらのリソースへのアクセス権が必要です（グループ化するすべてのリソースをカスタム RBAC スコープとして設定）。

- ステップ 1** [Home] ウィンドウで、画面右上の [admin] または [Settings] アイコン（歯車）をクリックします。
- ステップ 2** ドロップダウンメニューの [System Administration] リンクをクリックします。
- ステップ 3** [Hosts] タブをクリックして、サービスが実行されている単一または複数のホストに関するデータを表示します。
このビューで次のデータを確認できます。

IP address	ホスト IP アドレス
Memory	ホストで使用中のメモリおよび使用可能なメモリ
Storage	ホストで使用中のストレージおよび使用可能なストレージ

Date/Time	現在の日付と時刻
Running Services	ホストで実行中のサービスのリスト
